

「浜田市上水道事業施設耐震化・更新計画」についての補足説明資料

4 頁 下段のグラフについて

【質問】 更新需要法定耐用年数とは、法定耐用年数で運用した場合、その年に必要となる更新費用のことか？もしくは5年間の合計額がグラフの数値なのか？

【回答】 5年間の合計額がグラフとなる。

【質問】 年平均732百万円は、何年間の平均値を出しているのか？
グラフでは金額が高いのに、年間平均では低くなっているのはなぜか？

【回答】 100年間での1年あたり平均需要額を表記している。
棒グラフは、5年間の合計値のため、1年間の需要額は、棒グラフの数値の5分の1となる。

4 頁 下から2行目の記述について

【質問】 管路の法定耐用年数とあるが、法定耐用年数は何年を想定しているのか？

【回答】 40年を想定している。

5 頁 上段のグラフについて

【質問】 青い●は、何を表しているのか？

【回答】 施設を整備した年度を表している。

5 頁 下段のグラフについて

【質問】 4頁の質問と同様となるが、グラフでは金額が高いのに、年間平均では低くなるのはなぜか？

【回答】 棒グラフは、5年間の合計値のため、1年間の需要額は、棒グラフの数値の5分の1となる。

6 頁 表6-3-2について

【質問】 耐震性能のレベル1とレベル2の違いは何か？

【回答】 耐震性能レベルは、構造物の耐震設計を行うときに、耐えられる地震の大きさを2段階に分けたものである。

レベル1は、中規模の地震において、ひび割れなどが起きないことを目標として設計する基準である。

レベル2は、その構造物がその地域において最強と想定される地震に対して倒壊しないことを目標に設計する基準である。

7頁の次 更新計画 水道管路老朽度抽出範囲について

【質問】 グラフの数値は何を表しているのか？ 建設費用か、それとも更新費用か？

【回答】 建設費用であり、建設年次により老朽度をランク分けしたものである。ただし、建設年次が同じでも管種によって耐用年数が違うため、老朽度が変わってくることに注意を要する。

8-13頁 管路更新対象路線について

【質問】 地図に示してある路線は、第1次更新対象路線という扱いか？
老朽度は1、2、3のどれになるのか？

【質問】 1次更新の対象路線となる。老朽度による区分けを示しているものではない。

14頁 全体需要額について

【質問】 更新需要量の全体161億円とは、何年間の合計額か？

【回答】 20年間での更新費用となる。

【質問】 第1次更新の期間は、どのくらいで設定しているのか？

【回答】 2020年～2039年の期間で設定している。

【質問】 実質の需要額は約6億2千万とあるが、これは浜田市の実質負担額のことか？

【回答】 国庫補助金を除いた市の実質負担額である。